



新入生の皆さん、御入学おめでとうございませう。広島大学に入学された御感想はいかがですか。ところで、いま君の心とからだの調子はいかがですか。長い受験生時代を終えて待ちわびた大学生活を迎えるというのに、なぜか気分がすぐれないという人はいませんか。そういう人がいたら、ぜひ私たちキャンパス・カウンセラーを訪ねてください。

私たちカウンセラーについては、「一般教育の手引」の「保健施設及び相談施設」というページや各学部の掲示板に貼ってあるポスターでおおよそそのことがわかりますが、ここではもう少し詳しく紹介させてもらいます。

広島大学では、保健管理センターの「心理相談室」に三名、総合科学部の「学生相談室」に二名、計五名の専任カウンセラーがいます。私たちカウンセラーに持ち込まれる相談内容は、実に多種多様です。新入生に最近目立つ

ものをいくつかあげてみましょう。まず、転科・転学部や再受験の相談があります。とりあえず入学したものの、これからの自分の進路に不満や疑問を持っている人たちの相談です。実際には転科・転学部はかなり困難な状況にありますが、私たちと一緒に考えていく中で納得できる方向が見えてくるものです。また、最近では宗教への勧誘やキャッチセールスにつきもののトラブルに巻き込まれての相談もあります。これは、親元から離れて心細い思いで過ごしている新入生が陥りやすい落とし穴です。問題がこじれないうちに早めに相談に来てください。さらに、中学生や高校生と同じように「登校拒否」を起こす大学生も少なくないのです。このような場合は、悩みを抱えている学生本人だけでなく、その父兄の方や友達も心配して相談に来ます。周囲が手をこまねいて見ているよりも、身近な人

が私たちカウンセラーを訪ねることはとても良いことだと思います。

それでは、相談したいとき「学生相談室」と「心理相談室」のどちらを選べばよいのでしょうか。どちらも、受付ける相談内容とくに制限はもうけておりません。ですから、どちらを利用してもらうのもいいのです。ただ、興味深いことに、皆さんの先輩の利用状況をみると、学生諸君が二つのカウンセリンググループを上手に使い分けているようです。つまり、「学生相談室」には、転科・転学部などの「修学・進路」の相談が多いのに対して「心理相談室」には「登校拒否」などの「心の健康相談」が多いのです。「学生相談室」のカウンセラーは総合科学部の教官として一般教養課程のカリキュラムにくわしく、「心理相談室」のカウンセラーは医務室の精神科医と密接に連携プレーをしていることを考えると、とても上手な利用法だと思います。

私たちカウンセラーはひとりひとりの悩みの相談に応じるだけではなく、もつと積極的に自己の内面をみつめたい人のために、「自己表現セミナー」（心理相談室）「エンカウンター・グループ」（学生相談室）などの場も提供しています。「自己開発」をめざすこのような心理学的アプローチについては、その都度案内しますので、興味のある人はぜひ参加してください。

それでは、もう一度。「応援します 君のキャンパスライフ」